【解剖に必要な器具の種類・数量等】

・【資料15】に示す器具及び下記に示す消耗品

(1年間に必要な数量)

消耗品名	規格	数量
スチロール棒瓶	S - 50	6
II.	S-120	6
"	$S - 3 \ 0 \ 0$	6
JJ	S - 500	6
駒込ピペット	5 ml LDPE	1 0
II .	5 ml ガラス	1 0
II .	1 0 ml LDPE	1 0
11	10ml ガラス	1 0
手付きビーカー	5 0 0 ml	5
JJ	1 L	5
エタノール	1 8 L	2 0
ホルムアルデヒド	1 8 L	1 5
ボリシリンダー	2 0 0 ml	2
II.	5 0 0 ml	2
II.	1 L	2
手術用ゴム手袋	7. 5号	2 0
JJ	8 号	2 0
綿手袋	並寸 1ダース	4 0
II.	特大 1ダース	4 0
ビルポット	万能型 NO 6 5 4 個	2
替刃メス	NO 2 2 1 0 0 枚	2 0
替刃メスハンドル	NO4	2 0
替刃メス (脳刀)	5枚入れ	3
解剖鋸用替刃		2
共同ハンドル	F100	2
解剖刀替刃	NO100	7
ミクロトーム替刃		4
座布団綿		1 0
縫合針		2 0
縫合糸		2
丁字ミノ		2
肋骨剪刀		2
骨鉗子		2
予防衣	大	1 0
		料.目.).1.五子4.4.左左左 (4.)。

(数量は平成14年度実績による)